

## 令和4年度米子市スポーツ推進審議会 発言要旨（委員からの質疑応答）

### 【スポーツ推進計画に掲げる施策の令和3年度事業実施状況について】

#### 《報告書の様式について》

- ・ 予算額を掲載して欲しい。（木村委員）  
⇒次年度の報告から対応する。（事務局）

#### 《中学校部活動について》

- ・ 近隣に住む中学生から、水曜日は部活動が休みだという話をよく聞く。特定の中学校だけだろうか。県内ではどうか。（秋田委員）  
⇒原則として、1週間のうち少なくとも2日間を休養日とする。うち1日は土日に設定する。平日は水曜日を休みにする学校が多いと思われる。なお、県内でも部活動を週休二日制に、という方向になっているが、他市町村の状況は把握できていない。（上杉委員）
- ・ 「運動部活動推進事業」を専門的な指導ができる顧問の有無に関わらず活用して、働き方改革に繋げることはできないか。（秋田委員）  
⇒運動部活動外部指導者事業は、外部人材を活用することで、より専門的な指導を受けることができるが、指導者の派遣があっても顧問と一緒に活動している。働き方改革により繋がるものとしては、現在、教員が不在でも単独で指導ができる部活動指導員配置事業のことや、部活動の地域以降に伴い、部活動のあり方を国・県・市町村で検討しているところである。（事務局）

#### 《市民体育祭について》

- ・ 出場チームは公民館地区単位か。（秋田委員）  
⇒競技団体ごとに、参加者の状況に合わせて決めている。原則は公民館地区単位だが、地区内だけでは組めない競技では複数地区による合同チームがある。（事務局）
- ・ 経験者以外の参加が難しい競技がある。新しい種目を検討しては。（木村委員）  
⇒現在新種目は想定していない。新しい競技を加える場合は、まず市民の誰でも参加できる「各種スポーツ大会」事業で実施し、参加者数が安定すれば「市民体育祭」事業への移行を検討したいと考える。「各種スポーツ大会」事業で大会を新しく開催した例としては、ボッチャ大会（令和3年度時点で2回目）がある。（事務局）

#### 《高齢者のスポーツ活動の推進について》

- ・ 米子ええがん体操というものがあつたと思う、今も活用されているか。（森本委員）  
⇒保健推進委員と一緒に作り、現在も色々な地域活動で展開している。（事務局）

#### 《ふらっと運動体験の実施施設について》

- ・ふらっと運動体験の施設としてふれあいの里が挙げられているが、いまワクチン接種などで使えていないのでは。今後の予定は。(木村委員)  
⇒ふれあいの里は、ワクチン接種会場のための使用等で本事業の会場として使用できなくなっており、令和4年度からは米子サン・アビリティーズを使用している。Chukaiコムコムスクエア会場がふれあいの里での利用者の受け入れ先になっていると思われる。(事務局)

#### 《スポーツ推進委員について》

- ・現在の人数、年間報酬額、定員に足りているかを知りたい。(木村委員)  
⇒現在79名(29公民館に各2名+全市担当21名)であり、年額27,400円。定員(100名)には到達していないが、現状適切な人数と考えている。(事務局)

#### 《学校体育施設解放事業について》

- ・学校のグラウンドを解放する日を設定し、児童生徒に周知して、自由に外遊びができるようにしてはどうか。(木村委員)  
⇒学校や担当課での今後の検討事項として欲しい。(会長)

#### 《米子市健康づくり地域サポーター養成事業について》

- ・実績が少ないのではないか。(木村委員)  
⇒感染症対策による人数制限や分散開催により、参加希望者が参加したくてもできない状況があった。今後リモートでの開催も検討している。(事務局)

#### 《スポーツ協会運営事業について》

- ・表彰式等を実施するにあたり、補助金の額が少ないのではないか。(木村委員)  
⇒市が支出しているのは、市スポーツ協会から県スポーツ協会への負担金のみである。運営は各競技団体からの負担金で行うことが出来ている。(事務局)
- ・ニュースポーツの競技団体に協会への加盟を働きかけてはどうか。(木村委員)  
⇒ニュースポーツの競技団体は、県の協会しかないと思われるが、申し出があれば対応していきたい。(事務局)